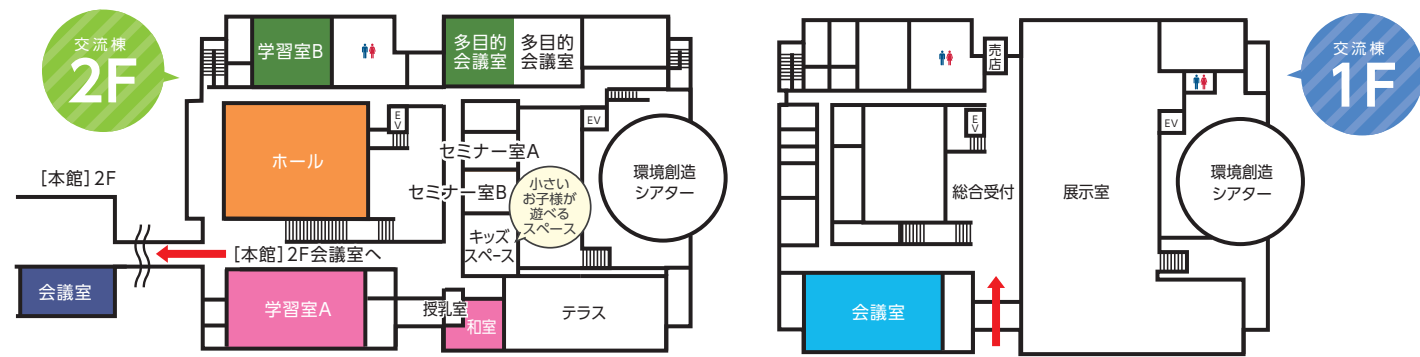


Schedule

TIME	交流棟 1F		交流棟 2F				本館 2F
	多目的ラウンジ	会議室	学習室A	ホール	学習室B	多目的会議室	和室
10:00							
10:30					ポスター展示	ポスター展示	
11:00				国際セシウムワークショップセッション1 10:00~11:40			サイエンストーク(専門分科会)1 10:45~11:45
11:30							
12:00					ポスターセッション 11:45~12:45	ポスターセッション 11:45~12:45	
12:30		パネル展示	パネル展示	国際セシウムワークショップセッション2 12:40~13:55			日本赤十字社福島県支部コーナー
13:00							
13:30							サイエンストーク(専門分科会)2 13:15~14:15
14:00							
14:30				14:30開場			
15:00							
15:30	パネルディスカッション サテライト中継			パネルディスカッション 14:45~16:15	パネルディスカッション サテライト中継		
16:00							



キッチンカーもやってくる!
やきそば・たこ焼き・あったかいスープ

同日開催 国際セシウムワークショップ

時間 9:50~14:00 場所 ホール

セシウムに関する研究を行っている国内外の専門家が集まり、ワークショップを行います。

セッション1 10:00~11:40

森林環境におけるセシウムの循環挙動と陸域の生物移行

セッション2 12:40~13:55

陸水環境におけるセシウムの移行挙動と生物移行、および今後の動態研究に対する展望

主催 © 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

★イベント内容、スケジュールは都合により、予告なく変更になる場合がございますので予めご了承ください。

お帰りには無料シャトルバスをご利用ください。(16:40発→三春駅経由郡山駅行き)

一緒に考えよう
ふくしまの未来

第1回 福島県環境創造シンポジウム

2018 3.4 10:00~16:15
会場 福島県環境創造センター交流棟
コミュニティ福島

パネルディスカッション

時間 14:45~16:15 場所 ホール

ふくしまの未来を見ずえたディスカッションを行います。

テーマ

ふくしまの環境回復・環境創造を考えるにあたり、今後どのような取組が必要か



ファシリテーター

開沼 博氏 (立命館大学 衣笠総合研究機構)
1984年福島県いわき市生まれ。東京大学文学部卒。同大学院学際情報学府同博士課程単位取得満期退学。専攻は社会学。著書に「福島第一原発汚染」(太田出版、編著)「はじめての福島学」(イースト・プレス)「漂白される社会」(ダイヤモンド社)など。NHK福島放送局ラジオ「こでらんに5」火曜パーソナリティはじめる。テレビ・ラジオ・新聞などで福島の実況の発信を続ける。



■パネリスト
玄侑 宗久氏 (福原寺住職・作家)
1956年、福島県三春町生まれ。安積高校卒業後、慶応義塾大学中国文学科卒。さまざまな仕事を体験したあと、京都天龍寺専門道場入門。2001年「中陰の花」で芥川賞受賞。また震災を被災者視点で描いた短編集「光の山」で芸術選奨文部科学大臣賞。近著「竹林精舎」は震災後の福島を舞台にした青春小説である。



■パネリスト
住吉 美紀氏 (フリーアナウンサー)
国際基督教大学(ICU)卒業。1996年アナウンサーとしてNHK入局。「プロフェッショナル 仕事の流儀」[スタジオパークからこんにちは]等の人気番組を担当。[第58回NHK 紅白歌合戦(2007)]では総合司会を務める。2011年4月よりフリーに。現在は、TOKYO FM「Blue Ocean」(月～金 8:55~)にてパーソナリティを務める。著書に「自分へのこぼれ」など



■パネリスト (福島大学 環境放射能研究所)
塚田 祥文氏
1983年、北海道大学水産学部卒。1984年、国立公衆衛生院修業。2001年、東北大学大学院農学研究科修士(農学)。専門は環境放射生態学、環境学、環境放射生態学。陸域環境における放射性核種の存在形態を駆使した挙動に関する研究に従事。



■パネリスト
関 奈央子氏 (ななくさ農園)
新潟県出身。東京大学農学部卒業。農林水産省に入省。貿易、環境関係部署を経て、イギリスに留学。その後、夫である関元弘氏とともに農林水産省を退職し、2006年に福島県旧東和町(現二本松市)に移住。「ななくさ農園」を開園し有機農業を営む。2011年に発泡酒、翌年には地域の農家で立ち上げたワイナリーで果実酒の製造販売に携わる。農業の傍ら英語教室を主宰。二児の母。



■パネリスト (福島県環境創造センター研究部)
佐々木一男氏
昭和57年4月福島県職員採用。18年間の食品生活衛生関係業務を経て、平成12年度から水・大気環境、調査分析、廃棄物等の環境関係業務に従事。環境創造センターでは、調査・分析部長を経て現在、研究部長として研究業務に従事。

サイエンストーク (専門分科会)

時間 10:45~14:15 場所 [本館]2F 会議室

テーマ別の口頭発表を行います。発表の間にはポスター発表も実施します。

10:45~11:45

サイエンストーク1 「生活を見守るモニタリング」

座長 (公財)日本分析センター 技術参事 池内 嘉宏 氏
福島県環境創造センター放射線計測部門長

「浪江町林野火災における放射性物質による環境影響について」
福島県環境創造センター 松本 和也 氏

「室内環境における放射性物質のばく露とその動態」
国立環境研究所 田中 敦氏

「異なる手法で測定した空間線量率マップの統合に向けた取り組み」
日本原子力研究開発機構 関 暁之 氏

13:15~14:15

サイエンストーク2 「地域資源による産業創生」

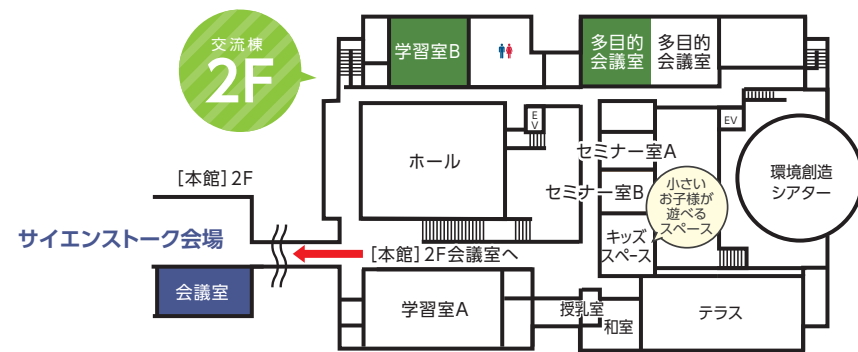
座長 東北大学 大学院工学研究科 教授 中田 俊彦 氏
福島県環境創造センター環境創造部門長

「福島県の森林林業再生にかかる林業研究センターの取り組み
—スギ・コナラ立木の汚染状況調査—」
福島県林業研究センター 小川 秀樹 氏

「福島における農業復興の現状—震災からの7年を振り返る—」
農研機構東北農業研究センター 信濃 卓郎 氏
農業放射線研究センター

「環境に配慮した地域産業創生をめざして
—福島県新地町、三島町における例—」
国立環境研究所 大場 真氏

ポスターセッション 11:45~12:45 学習室B・多目的会議室



MEMO

パネル展示

時間 10:00~16:15 場所 会議室・学習室A・和室

福島県内で活動する研究機関、関係団体等によりブース毎にパネルを展示します。

出展団体

【環境放射能について】	⑩福島県立安達高校	⑲産総研福島再生可能エネルギー研究所
①福島大学環境放射能研究所	⑪日本赤十字社福島県支部	⑳福島県ハイテクプラザ
②東日本国際大学福島復興創世研究所	【農林水産について】	㉑日本大学工学部
③量研機構・放射線医学総合研究所 福島再生支援本部	⑫農研機構東北農業研究センター福島研究拠点	㉒福島工業高等専門学校
④国立保健医療科学院	⑬福島県水産試験場	㉓会津大学
⑤環境再生プラザ	⑭福島県農業総合センター	㉔福島大学・地域連携課
⑥がんばろう福島、農業者等の会	⑮福島県内水面水産試験場	【福島県環境創造センター他】
⑦あぶくまエヌエスネット	⑯福島県林業研究センター	㉕福島県生涯学習課
⑧コープふくしま	【未来へのとりくみ】	㉖福島県立図書館
⑨Safecast (セーフキャスト)	⑰わかば自然楽校	福島県環境創造センター ㉗放射線計測部門 ㉘除染・廃棄物部門 ㉙環境動態部門 ㉚調査・分析部 ㉛環境創造部門
	⑱会津阿賀川流域ネットワーク	

